



令和2年度事業報告・決算

はじめてみよう 各種講座参加者募集

トマトはミニでも成果は大きい?

野菜づくりで地域のつながりを作ります。
(那加三地区社協ご近所畑事業)
この写真の詳細は5ページに



令和
2年度

事業報告・決算

令和2年度は新型コロナウイルスの流行により、非常事態や緊急事態が宣言され、全ての事業において、コロナ禍での対応を探りながら進める一年となりました。

また、コロナの影響を受けて、失業や休業等による収入の減少など生活に困窮された方に、生活福祉資金特別貸付の窓口として、事務局体制を一部変更し、支援業務を行いました。事業を縮小・中止したものもありますが、実施した主な事業について報告します。

社協会員募集結果

- ・世帯会員数 **34,111**世帯
- ・賛助会員数 **419**企業等
- ・会費総額 **19,470,500**円
- ・寄付金 **70**件 **1,938,235**円

ご協力ありがとうございました。

17の地区社協ごとに 福祉活動を展開しました

地区社協交付金及び13のメニュー事業助成を活用して、地域の実情にあわせた地域福祉活動を展開しました。

緊急事態宣言が解除されたタイミングで、「新しい生活様式」の実践の定着をめざし、地域福祉活動を安心して行うことができる体制を築くために、コロナ禍での地域福祉活動の進め方について提案しました。

地区社協交付金 **6,900,000**円

メニュー事業助成金 **11,307,935**円

ボランティアハウス数 **100**ハウス

近隣ケアグループ数 **293**グループ

近隣ケアグループ員数 **2,042**人



近隣ケアグループによる訪問活動



稲羽東 夢を実現プロジェクト

夢を実現プロジェクト事業

地区社協や自治会が企画・提案する地域性を活かした独自の取り組みや住民が主体となり創意工夫された活動に対して、助成交付を行います。

夢を実現プロジェクト事業実施地区社協

鵜沼第二「住民お互いさま活動充実」／稲羽東「長平安心で安全なまちづくり推進事業」／緑苑「地域通貨を活用した生活支援事業」／八木山「より住みやすいまちづくりを目指す生活支援活発化」／鵜沼第三「新鵜沼台小さな手助け活動」／各務川「崎団地 お出かけサロン」／蘇原南部「六軒西第6自治会防犯パトロール事業」

コロナ禍にも関わらず 多くの方にご参加いただいた 研修・ボランティア養成講座等

市民後見人養成講座 **18**名

ささえあいづくり講座 **46**名

生活支援サポーター養成研修 **34**名

要約筆記体験講座 **9**名

音訳ボランティア養成講座 **6**名

点訳ボランティア養成講座 **9**名

手話奉仕員養成講座 **26**名

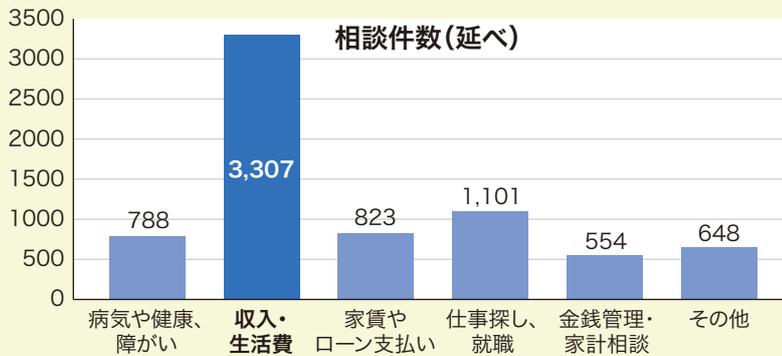
ファミサポ研修会 **12**名

生活相談件数が増えました (昨年度比)

相談件数の増加に対し、相談対応職員の増員やボランティアルームを相談室に変更し対応しました。

約2倍

生活相談さぽーと 相談件数 3,544 → **7,221**件



緊急小口資金・総合支援資金(コロナ特例)

1,247件 **316,837,000**円

特例貸付の申込期限は8月末です。(令和3年6月現在)

緊急食料給付

104 → **161**件

約1.5倍

学校で福祉を学ぶ機会として

福祉推進校 **26**校
(市内の小中高校、特別支援学校)



ボランティア登録数

団体登録 **74**団体
1,400名

個人登録 **48**名



その他の福祉サービス

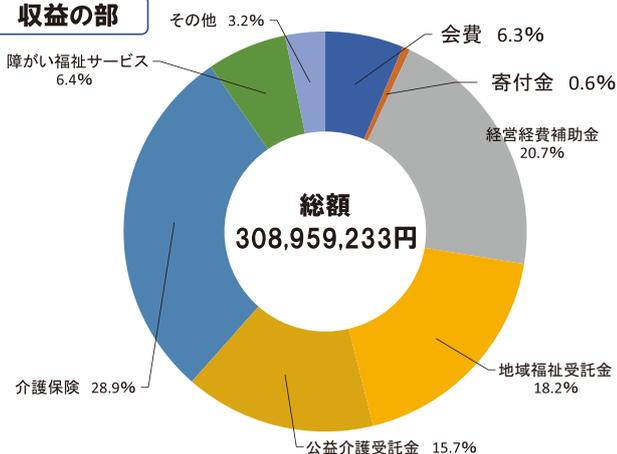
福祉用具貸出件数(車いす、松葉杖)	93件
日常生活自立支援事業契約人数	66名
ファミリー・サポート・センター事業調整実績	298件
福祉有償運送事業運行実績	328回1,628km

福祉サービスの担い手として

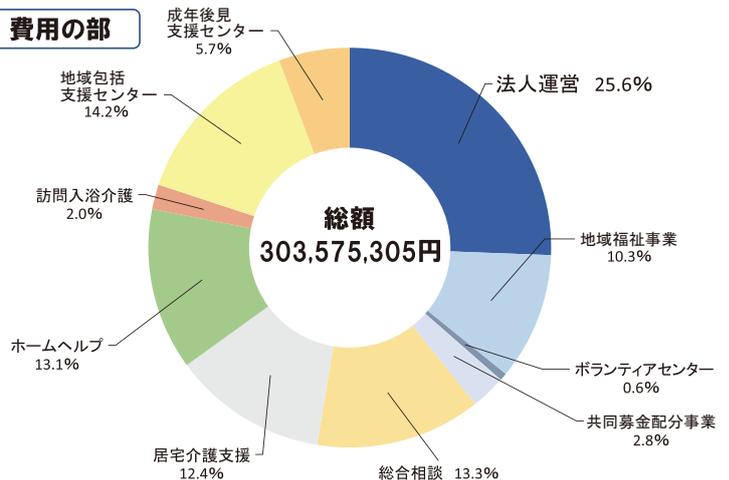
ケアプラン作成	2,540件
ヘルパーサービス(障がいサービス含む)	6,277件
訪問入浴介護(障がいサービス含む)	580件
介護予防プラン作成(総合事業対象者含む)	3,827件

令和2年度 一般会計 決算

収益の部



費用の部



事業報告・決算の詳細は本会websiteでも紹介しております。

232作品
の中から

優秀作品決まる！

社協新マスコットキャラクター募集

本紙(昨年10月15日号)で募集をした、「法人化40周年記念 各務原市社会福祉協議会マスコットキャラクター」において198名・全232点のご応募をいただきました。

市内の方はもちろん、遠くはオーストラリアより、たくさんのご応募ありがとうございました。

これらの作品から、選考委員会等での厳選なる審査を経て、最優秀賞及び優秀賞が決定しました。

決定したマスコットキャラクターは、11月に開催予定の各務原市社会福祉大会にて発表します。

最優秀賞

塩崎 榮一さん

優秀賞

細野 恭子さん

橋本 春花さん



八木山地区社協の取り組み

「やざえあい畑」

八木山の団地の一角にある「やざえあい畑」。土地を借り、開墾を始めてから4年が経過しました。今では立派な野菜が実るこの畑ですが、地域の「できること」が結集しています。

土づくり、水の確保、野菜づくりのノウハウ、そして採れた野菜の活用法についても、アイデアが盛り込まれています。

収穫した野菜は、高齢者宅へ友愛訪問する際の土産となり、時には旬の食材として料理の得意な方の手によって、おいしい漬物や惣菜として配食サービスの「お弁当」にも使われています。そのお弁当を食べた方から喜びの声が届くと、もっと丹精込めて作るぞとやる気みなぎります。

木陰でのんびりとお茶を飲む時間も、楽しいひとときになっています。



水道も看板も手づくり



新玉ネギが採れました



お茶のみの時間が一番の楽しみ?!

プランターに実るのは 人と人とのつながりです



コロナ禍の見守り活動を、どのような方法で行うか悩ましいなか、野菜を育てることで、自然にご近所がつながるきっかけとなる事業が新たに始まりました。
那加三地区社協での取り組みを紹介します。



通りがかる時に、近所の皆さんが気にします。
トマトで近所につながります。



近隣ケアさんが訪問すると「やっと実がついたわ。
どうやって配ろうかしら」と成長を楽しみにしています。



いつもたくさんの野菜を育てる津田さんが
選んだトマトの苗は豊作間違いなし!



那加三地区社協がプランターや苗を準備し、
近隣ケアの皆さんがセットを取りに続々と集ま
ります。



今後の成長が楽しみです

野菜が成長、実り、収穫する喜び、収穫した野菜を活用
することで、ご近所のつながりも実を結びます。

この活動をとおして、近隣ケアグループや近所の人
がゆるやかにつながることをめざしています。



情報伝えるボランティア講座 参加者募集

市内には、視覚障がい、聴覚障がいのために生活するうえで大切な情報が正確にすばやく伝わらない方がいらっしゃいます。その方々を支えるボランティア活動が点字で伝える「点訳」、声で伝える「音訳」、手話で伝える「手話通訳」、文字で伝える「要約筆記」です。

秋から始まる4つの講座の参加者を募集します。講師は市内で実際に活動しているボランティアグループの皆さんです。

ぜひ講座を受講して、一緒にボランティア活動をはじめませんか？

【申込先】 地域福祉課 ☎058-383-7610 または右記QRコードより



▲申込フォーム

音訳ボランティア養成講座

声を使った
ボランティア活動です。
音訳について
私たちと一緒に学び、
『声の広報』『声の図書』
を届けませんか？



講師：音訳ボランティアあじさいの会
(昨年の講座の様子)

視覚に障がいがある方へ広報紙や図書などを
声でお届けするボランティアを養成します。

日 時：9/7～12/21までの毎週火曜日(全15回)
(11/23を除く)
9:30～11:30

場 所：各務原勤労会館 他
定 員：20名
受講料：1,000円

点訳ボランティア養成講座

6つの点で
伝える点字。
コツコツと丁寧な
活動が得意な方に
向いていますよ。



講師：点字サークルあけぼの会
(小学校での点字の授業の様子)

視覚に障がいのある方へ広報紙や図書などを
6つの点(点字)で表現して伝える点訳ボランティア
を養成します。

日 時：10/4～2/7までの毎週月曜日(全15回)
(10/11、12/27、1/3、1/10を除く)
9:30～11:30

場 所：各務原勤労会館 他
定 員：20名 受講料：1,000円

手話奉仕員養成講座(入門編)

修了後、
来年の「基礎編」まで
サポートし、ことばである
手話技術を習得した
手話奉仕員を
養成します。



講師：聴覚障害者協会、手話サークルはにわ会
(一昨年の福祉フェスティバルの様子)

聞こえない障がいや、その生活について理解を
深め、日常生活に必要な手話を習得した手話奉仕
員を養成する初心者対象の講座(入門編)です。

日 時：10/1～2/25までの毎週金曜日(全18回)
(12/17、12/24、12/31、2/11を除く)
19:00～21:00

場 所：各務原勤労会館 他
定 員：40名 テキスト代：3,300円

要約筆記体験講座

「要約筆記」を
体験してもらうことを
目的としています。
1回からの参加も
大丈夫です。



講師：要約筆記サークルかがみの会
(一昨年の講座の様子)

手話が習得困難な中途失聴者や難聴者のコ
ミュニケーション手段としての要約筆記を広く体
験を通して学びます。

日 時：11/6、11/13、11/20、11/27の土曜日
(全4回)
14:00～16:00

場 所：産業文化センター2階 第4会議室
定 員：20名 受講料：無料

ファミリー・サポート・センター事業



あなたも育児のお手伝いをしませんか？



～地域で子育てのサポートを「受けたい人」と「行いたい人」を結びます～

子どもを
預かって
ほしいな…

利用会員

育児の
お手伝いを
します！

サポート会員

ファミサポ

Family Support

会員募集中

「育児を手伝ってほしい人」と「育児を手伝いたい人」が
会員となって、地域で子育ての助け合いをする
有償ボランティアです。

こんな時ご利用できます！

火曜日は仕事で
遅くなってしまう…

誰か代わりに保育
園に迎えに行っ
てくれないかな…

病院に
行きたいな…

自分の病院の予約
時に子どもを預か
ってほしいな…

たまには
リフレッシュ
したいな…

習い事や美容院、
少しだけ自分の
時間がほしいな…

国の少子化対策として、仕事と育児の両立等を地域で支援することを目的としたファミリー・サポート・センター事業は、重要な子育て支援策の一つとされています。

ニーズも年々増えており、多くの方の協力を必要としています。

サポート会員に登録しませんか？



「いまの子育て、地域で子育て研修会」を開催します！
皆さんのご参加お待ちしております！！

日時・場所	内容
<p>★1回目</p> <p>10/10(日) 13:00～16:00</p> <p>産業文化センター 2階第3会議室</p>	1.救命救急講習
<p>★2回目</p> <p>10/18(月) 9:00～12:00</p> <p>産業文化センター 2階第4会議室</p>	2.子どもと発達の基礎知識 3.発達障がいについて 4.障がいのある子の気持ち
<p>★3回目</p> <p>10/25(月) 12:00～16:00</p> <p>産業文化センター 2階第4会議室</p>	5.子どもの事故と予防法 6.子どもの世話と遊び 7.子どもの栄養と食生活 8.サポーターの心得 修了証交付

1日だけの
参加もOK♪
問い合わせ・申込
地域福祉課
☎058-383-7610

定員 20名
参加費 無料



市民向け講演会 テーマ「市民後見人への期待」

日時 10/26(火) 13:30～15:00
開催の可否は8月末に決定します。

場所 産業文化センター2階
第3会議室

講師 弁護士 山田 貞夫 氏

参加費 無料



対象者 成年後見制度に興味・関心のある方

定員 50名(定員になり次第締切)

申込 電話・メール・申込フォーム



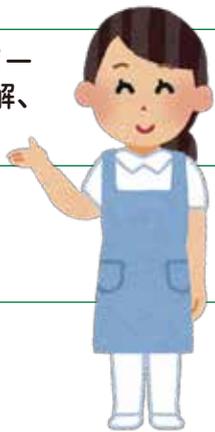
【問い合わせ】各務原市成年後見支援センター
☎058-322-5118
メール kouken@kakamigahara-shakyo.jp

地域にはあなたが活躍する場がたくさんあります! 生活支援サポーター募集

高齢者宅の掃除や洗濯など、生活支援を行うサポーターの養成研修を開催します。過去の研修参加者には、実際に訪問介護事業所で勤務をしている方もみえます。

誰かのために、あなたの時間を活かしませんか

日時	内容
10/7(木) 9:30~15:30	開講式、コミュニケーションについて、 高齢者・障がい者の理解 等
10/14(木) 10:00~16:30	救急対応、認知症サポーター講座、生活支援の理解、 生活支援の技術 等
10/15(金)~ 27(水)	同行訪問実習 ※ヘルパーに同行し、 個人宅へ訪問します
10/28(木) 10:00~12:00	交流会、閉講式



令和4年2月にも同様の講座を計画しています。



わたしの住む
まちにお年寄りの方が
増えてきてるな。
わたしにも何かできる
ことあるかな?



▲申込フォーム

対象者 市内在住または在勤で、市内の訪問介護事業所などでの勤務を考えている方や生活支援の知識を習得したい方など。
定員 20名(先着順)
場所 産業文化センター
申込先 地域福祉課
☎058-383-7610
または上記QRコードより
受講料 無料



コミュニケーション技術について学ぶ様子

善意の寄付をいただき 誠にありがとうございました

令和3年4月1日から令和3年5月31日まで

戸大建設工業(株)	25,000円
早野 孔禪	2,000円
波多野 耕三	9,000円
小林 篁弘	20,000円
絵手紙サークルほほえみ	3,158円
匿名	30,000円
匿名	30,000円
匿名	12,500円
末松建設(株)	古切手

(敬称略・順不同)

新企画

ボランティアサロン

令和3年度より、寄付でいただいたタオルを縫って雑巾にするボランティア活動が始まります! 縫った雑巾は市内のボランティア活動で活用していただけるよう、渡し先を現在検討しています。活動に参加したい方は当日会場までお越しください。

日時: 7月23日(金) 10:00~12:00
(毎月第3金曜日に開催します)

場所: 総合福祉会館2階ボランティアルーム

また、集まらなくても活動できるよう材料セットを用意しました。いつでも材料をお渡しできるので、地域福祉課までご連絡ください。



地域福祉課
☎058-383-7610

各務原市社協ホームページ



この広報紙には、赤い羽根共同募金が使われています。

発行日/2021.7.15